

平成26年8月11日

福島町議会議長 溝 部 幸 基 様

福島町議会議員 溝 部 幸 基 ㊟

研 修 成 果 報 告 書

福島町議会議員の研修に関する条例第7条の規定により、次のとおり成果を報告します。

記

- 1 研 修 日 時 平成26年7月4日(金)
午後1時～午後4時33分
- 2 研 修 先 札幌市 「札幌コンベンションセンター」
- 3 研 修 目 的 平成26年度北海道町村議会議長会主催議員研修会
- 4 成果(具体的に)

【研修会講演内容】

- (1) 午後1時7分～午後2時38分
「議会改革のこれから」
法政大学法学部 教授 廣瀬 克哉 氏
- (2) 午後3時00分～午後4時30分
「これからの日本の政治」
読売新聞特別編集委員 橋本 五郎 氏

【考察】

(1) 「議会改革のこれから」 法政大学法学部 教授 廣瀬 克哉 氏

講演が終わった途端、後ろの席で話す声が聞こえてきた、「何言ってるんだか、さっぱりわかんね。まあ、最初からわかる気持ちもねえけどな」。出席議員の率直な感想なのだろうが、あきれて顔を確認する気にもなれなかった。笛吹けども踊らず、遅々として進まない議会改革の実態を見る思いをした。

最近何かと話題の多い地方議会について、先日、子供向けの番組が放映されておりました。ゲストに廣瀬先生も出演し、いつもの調子でやさしく、わかりやすく説明をしておりました。他の先生の話よりも、廣瀬先生の話が理解しやすいと見えて、子供たちは何度もうなずきながら聞いておりました。

廣瀬先生は、総合計画条例策定の際に福島で講演しておりますし、これまで何度も話を聞いていますが、簡潔明瞭で起承転結が明確で理解しやすく、さすが大学教授といつも感心してしまいます。以前、先生のスタッフから「原稿の作成がいつも〆切に間に合わない」との話を聞いたことがありますが、忙しい中でも、より慎重に推敲を重ねて、わかりやすい内容にとの先生の信念があるからと思いました。ガバナンス(ぎょうせい)、「民主主義の舞台をめざして」のシリーズを読むとそのことが良く理解できます。私にとっても、迷った時の貴重なバイブルとなっております。

「議会基本条例」を一つの目標として進んできた議会改革は、次の展開を目指した段階となってきている。全国1789地方自治体の内、566の自治体が議会基本条例を制定している。整備している自治体は、そこがゴールであるかのように、飾っておくだけではなく、日々の議会活動として具体化を目指してほしい、未整備のところは、できることから改革に取り組み、制定を目指してほしいとの強い思いが込められた講演であったと思います。

(2)「これからの日本の政治」 読売新聞特別編集委員 橋本 五郎 氏

橋本さんの講演を聞くのは2度目になる。テレビでもよく見ることもあり、政治記者時代の体験談や「時局展望」などでの歯に衣着せぬストレートな発言は、痛快に聞こえるが、「集团的自衛権」、「特定秘密保護法」等の発言については、時に首をかしげることもある。

自身が、秋田県出身ということもあり、「日本政治の最大の問題は、地方の過疎化に何の手立ても打てないことだ」として、「少子高齢化」が急激に進み、「過疎化」に拍車がかかり限界集落が増えていく地方自治の在り方について強く発言する事が多い。前回と同じように、自分を育てた故郷、そして、母への思慕の念を強く感じた。

お母さんが還暦を機会に取組んだ「老人憩いの森」、地元のおじいさん・おばあさんが協働する「橋本五郎文庫」には一度行ってみたいと思っている。